

2011-R053

2011年4月28日

(報道発表資料)

NTT コミュニケーションズ株式会社
株式会社 NTT ぷらら
株式会社 NTTPC コミュニケーションズ
NTT America, Inc.

NTT コミュニケーションズグループでの「World IPv6 Day」への参加について

NTT コミュニケーションズ(以下 NTT Com、代表取締役社長:有馬彰 本社:東京都千代田区)、NTT ぷらら(代表取締役社長:板東浩二 本社:東京都豊島区)、NTTPC コミュニケーションズ(以下 NTTPC、代表取締役社長:井上裕生 本社:東京都港区)、NTT America(代表取締役社長:五味和洋 本社:アメリカ ニューヨーク)は、2011年6月8日に予定されている世界規模の IPv6 トライアル「World IPv6 Day」に NTT Com グループとして参加します。

Google や Facebook が中心となり呼びかけたこのイベントは、2011年6月8日の24時間にわたり参加各社の Web サイトに IPv6 アドレスからのアクセスを可能にするトライアルです。

NTT Com グループでは、1995年に IETF(インターネット技術標準化推進団体)における IPv6 基本プロトコル策定の実施、2001年には日本での「IPv6 情報家電実験」、EUでの「6NET」など各国の国家プロジェクトの中核メンバとして参画するなど、日本における IPv6 ネットワークの歴史を牽引してきました。また、2001年に世界初の本格的商用 IPv6 サービスとして「OCN IPv6 トンネル接続サービス」を日本全国で開始するなど、早くから提供サービスの IPv6 対応を実施してきました。

2011年2月3日にアメリカで開催された IPv4 アドレス枯渇発表のイベントにおいても、ICANN* の President および CEO である Rod Beckstrom 氏から世界的に IPv6 を推進している通信事業者 2 社のうちの 1 社として NTT の名前が挙げられています。

NTT Com グループでは、NTT Com が提供する緊急地震速報配信サービスや NTT ぷららが提供する 141 万会員を有するひかりTVなどのサービスにおいても IPv6 技術を使っており、また海外でも NTT アメリカが米国初の IPv4/IPv6 デュアルサービスを商用展開するなど、IPv6 サービスのパイオニアとしてインターネットサービスの将来を見据え、その普及に努めてまいりました。

今後もよりお客さまに快適なインターネットサービスを提供するために IPv6 を推進してまいります。

※ICANN (Internet Corporation for Assigned Names and Numbers) : インターネットの IP アドレスやドメイン名などの割り当てを管理する米国の非営利民間組織